

フラワーショップKAZへ納入 3年ぶり陶製品を手渡そう…

宇治支援学校高等部生徒が手製



フラワーショップKAZ秋元店長に陶製の鉢とピックを手渡す生徒たち

府立宇治支援学校(細矢義伸校長) 〓宇治市広野町丸山 〓の高等部生徒は30日、自分たちが手掛けた陶製の鉢とピックをフラワーショップKAZ(秋元美里店長) 〓小倉町神楽田 〓に納品し、手作りに込めた思いをアピールした。

2011年の開校以来、生徒が陶芸に触れる同校ならではの地域交流・貢献を目指した取り組み。

14年から地元にある同店の注文を受け、くらし地域コース2年生がメッセージを添えて鉢に差すピックを、くらし健康コース1〜3年生が鉢を製作してい

る。生徒たちは、幾重の花びらが重なるイメージの鉢10基と、お正月にちなむメッセージと富士山・初日の出のイラストを添え5つある

釉薬(ゆうやく)の色から同店が選んだ織部(おりべ)・桜桃釉(おうとうゆう)の2色が程よく映えるピック50本を完成させた。

この日は、今西颯(はやて)さんと中野裕哉さんの男子2人と女子1人のいずれも2年生3人が教員とともに納品に訪れ、「ちょっと難しかったけれども、頑張りました。大事に飾ってもらいたい」と同店スタッフに直に手渡した。

ここ2年はコロナ感染予防で教員のみで納

品。3年ぶりとなる生徒からの直接納品を受けた秋元店長は「久しぶりに生徒さんに会うことが出来てうれしい。かわいい、と買ってくださるお客様は数多い」と笑顔で応じた。

鉢を使った商品は早速店頭へ。正月向けのピックを使う商品は12月半ばから並べるとい